

一般社団法人小平青年会議所

2026年度2月度例会

第70回通常社員総会

2026年2月13日
於：中央公民館 学習室4



一般社団法人小平青年会議所事務局
小平市大沼町5-9-8 泉蔵院内
TEL:042-343-4855
<http://kodairajc.ne.jp>

目次

(第1号議案) 2025年度事業報告 承認の件

一般社団法人小平青年会議所 2025年度 理事長報告

[第42代理事長 福室 英俊](#)・・・1P

一般社団法人小平青年会議所 2025年度 副理事長報告

[副理事長 小川 健太](#)・・・5P

[副理事長 石津 遥香](#)・・・5P

一般社団法人小平青年会議所 2025年度 専務理事報告

[専務理事 伊澤 豪馬](#)・・・6P

一般社団法人小平青年会議所 2025年度 事業報告

[1. 総会](#)・・・7P

[2. 例会・事業](#)・・・7P

[3. 理事予定者会議・理事会](#)・・・8P

[4. 理事選挙管理委員会報告](#)・・・10P

[5. 褒賞受賞者](#)・・・11P

一般社団法人小平青年会議所 2025年度 委員会報告

[LOVE&PEACE委員会](#)・・・13P

[HAPPY&SMILE委員会](#)・・・15P

[事務局](#)・・・17P

[新人企画特別委員会](#)・・・19P

一般社団法人小平青年会議所 2025年度 出向者報告

[東京ブロック協議会 24LOM連絡会議 議長 石津 遥香](#)・・・21P

一般社団法人小平青年会議所 2025年度 監事報告

[外部監事 大森 紀生](#)・・・22P

[外部監事 富田 隼](#)・・・22P

[\(第2号議案\) 2025年度決算報告並びに監査報告承認の件](#)・・・23P

[\(第3号議案\) 2026年度補正予算\(案\)承認の件](#)・・・31P

[\(第4号議案\) その他](#)・・・32P

[2025年度 賛助会員の皆様](#)・・・33P

理事長報告

2025年度一般社団法人小平青年会議所
第42代理事長 福室 英俊

信じ、託す

○はじめに

2025年度の一年間を振り返り、改めまして、お支えいただいたすべての皆さまに心からの感謝を申し上げます。

創立42周年目を迎える2025年度の理事長の職をお預かりするにあたって、スローガンを『信じ 託す ～語ろうともに進もう前へ』を掲げました。やったことがないことをいきなり挑戦することは、とても大変で困難な道です。しかし、信じて、任せて、やってみないことには、成功も成長ありません。なにごとにおいても、あれもこれも抱えこんでやってきた自負と反省があった私自身の課題であったとともに、ここ数年で入会したメンバーが7割近い当会として、できる人・やれる人があれもこれもするのではなく、見守りながら仲間の成長を信じ、支えていくことを掲げました。

上半期は手を出しすぎたところは指摘があり、下半期は、概ね『信じ託す』のスローガンを達成することができたと考えております。

○ 例会・事業の振り返り

1月度例会では、嘉悦大学内カエツホールをお借りして、新年賀詞交歓会を開催いたしました。全メンバーが参加をし、出席率100%例会を達成することができました。また2025年度のスローガン・所信をご来会いただいた皆様の前での発表を通じて、「人づくり・まちづくり・人財育成・スキルアップ」への想い、青年会議所の運動について発信いたしました。

2月度例会の通常社員総会では、昨年度の事業報告並びに決算報告を行いました。単年度制を採用している当会において、前年度の総括を行う総会はとても重要な場です。1年間の運動を振り返っての理事長所信との照らし合わせ、答え合わせ、通信簿を自ら付けることで、できたこととできなかったことの整理、翌年度への申し送りがなされます。『2024年度はとにもかくにも拡大の年である』と音頭を取り、会員拡大12名という近年稀に見る成果を導いた松岡篤第41代理事長に感謝と敬意を表するとともに、2025年度は近年入会したメンバーの育成に重きを置くことを明確にいたしました。

3月度例会は、2025年度最初の公益事業:青少年育成事業として職業能力開発大学校のご協力のもと、知的好奇心とものづくりへの関心を高める事業を行いました。ペットボトルを加工してプロペラを作り、サーキュレーターによる風を当てての風力発電機製作を体験する中で、子どもたちは試行錯誤を重ねながら、より高い電圧を生み出す創意工夫を行いました。最終的に優れた成績を出したものは、「羽根は少なく薄くよりシンプルな形」という講師の助言の通りのもので、洗練されたデザインの重要性を学ぶ機会となりました。しかしながら、唯一絶対の解はないこと、失敗しても何度でもチャレンジすることの大切さ、独創的なカタチや周りの人とは違ったデザインの中にこそイノベーションがあることなど、参加した子どもたちに多くの気づきを与える機会になったとともに、見学に駆けつけてくださった保護者の皆様にもそれをメッセージとして伝えることができました。

5月度事業は、陸上自衛隊小平駐屯地のご協力のもと防災事業を企画し、地域関係団体とも連携しながらおよそ90名の子どもたちが参加する避難訓練を行いました。同じく市内に拠点を構える国土交通大学校(国土交通省)所有の自然災害体験車や降雨体験車に乗車してのシミュレーション訓練や、府中に拠点を持つ航空自衛隊の観測機器の展示などを見ることができました。私も多くの防災事業にこれまで参加をして参りましたが、初見のものばかりでした。市内に陸上自衛隊駐屯地を持つ小平青年会議所ならではの意義深い取り組みとなりました。

7月度事業は拡大・交流事業としてのビジネスマッチングを開催しました。これまで行ってきた異業種交流会をさらに一歩進め、実際のビジネスへつながる、『成約』までを念頭においた交流事業としたことは、新た

な試みと言えます。実際に仕事につなげるための取組み、フォローを担当委員会が精力的に努めました。当日参加してくださった方が当会への関心を持ち、直ちに入会という結果には至りませんでした。その後も当会の例会案内をお送りするなど、将来の入会に向けたプロモーションとなった事業にできました。

8月度例会は、2025年度が太平洋戦争戦後80年の節目の年として平和事業を実施しました。今回こだわりを見せたのは、戦時下の食事体験でした。講話形式の事業は、毎年夏の時期には多く行われていることを踏まえ、青年会議所が主催するからにはと、普段なかなか体験できない機会を子どもたちに提供したいという担当委員会の思いがカタチにされました。参加者は、講師による講義、参加者間でのディスカッションも含めて、平和の尊さを学ぶ機会となりました。会場の選定・日程の調整の段階から様々な困難がありましたが、委員会の総力をもって、無事に開催にこぎつけることができました。

前回の平和事業は、戦後75年目の節目の年であった2020年のことでした。それから5年が経ち、今般戦後80年を迎える中で、当時の様相を知る方の高齢化はより一層進みました。今後の平和事業の開催にあたっては、太平洋戦争という枠にとらわれず、違った角度で戦争と平和について考えていくことも、青年会議所として必要なのかもしれません。ロシア・ウクライナの戦争が2022年に始まり、まもなく丸4年を迎えますが、ドローンや無人機をはじめとする現代兵器の進歩は目覚ましく、また戦争の長期化は世界経済に大きな影響を与えています。東シナ海の覇権をめぐる国際的な緊張も高まっている中で、日本、アジアにおける近現代史を学ぶことは、子どもたちのみならず、私たち青年経済人にとっても意義深いものと考えます。今後理事長を務める方には、平和事業は5年に一度という固定観念にとらわれず、世界情勢をふまえ、必要とあればぜひ事業に据えることを検討いただきたいと思います。

10月度例会は、この1年間で入会したメンバーが企画をしたコンプライアンス研修事業を実施いたしました。ハラスメントをテーマに据え、講師としてお招きした弁護士による講話を交えながら、日々の活動における適切な距離感やコミュニケーションの重要性を学びました。不用意な一言や行動は、社会的な信頼を損なうことを改めて自覚し、青年経済人としてのふるまいについて考え直す機会となりました。

11月度例会は、かつて10年続いた小平青年会議所の伝統であった『なわとび甲子園』をオーマージュした『なわとびチャレンジカップ2025』を開催しました。種目を団体戦の大なわとびだけにし、競争性を抑えたことで、参加者同士が励まし合いながら楽しめる事業となり、学校の垣根を越えた交流にもつながりました。会場を提供いただいた嘉悦大学には学生ボランティアを派遣いただきました。外部のスタッフのマネジメントをする機会はとても貴重なものであり、事前の調整なども含めて委員会メンバーは多くの経験を積むことができました。11月の開催にあたっては、学校現場ではインフルエンザが蔓延しており、直前での参加キャンセルが相次ぎました。対外(公益)・青少年育成事業を開催するにあたっては、誰でも予約なしで参加できるオープン参加型にするか、インフルエンザが猛威を振るう前に開催することを申し送りたいと思います。

12月は第一例会として防災事業を、第二例会として事業報告会ならびに卒業式を開催いたしました。年末の誰もが忙しい中ではありましたが、2つの例会を開催・運営することは大きな負担があったかと思いますが、無事にやり遂げ、2025年度は2名の卒業生を送り出すことができました。

第一例会の防災事業は、2023年に災害時に係る協定を締結した小平市社会福祉協議会との連携事業を行いました。2024年度に続いて白梅大学に会場をご提案いただき、多くの学生ボランティアも派遣いただいで、大震災の際、社協が立ち上げる災害ボランティアセンターの受入訓練、各種防災ブースによる訓練を行いました。

第二例会の事業報告会ならびに卒業式では、年始の賀詞交歓会へお招きした皆様に、2025年度の事業報告を行うとともに、2名の卒業生の門出を祝いました。

11月、12月は、3つのすべての委員会が例会・事業を担当いたしました。2026年度の準備もあった中で、精力的に動いてくださいました。

上半期は、会の運営を私も先回りして側面から支援をしていたところ、メンバーからスローガンに掲げた『信じ託す』を実践できていないと指摘されました。

言うは易し行うは難しということに気づかされたとともに、下半期の会の運営は、委員会にすべて委ねました。その結果、些細なミスはありましたが、メンバー間で気づき、指摘し合える構図ができてきたかと思えます。その一つ一つがよい経験であり、今後の財産となります。地域団体の核となる人財を育成し、輩出してきた当会は、失敗に寛容なのがアイデンティティです。2025年度の反省は、2026年度の小川理事長のもとでの例会・事業にて、同じ過ちをしないよう気をつけていきたいと思います。

最後に、2025年度の例会・事業を総括するうえで、2点、次年度への申し送りをしたいと思います。

1点目が、広報についてです。

紙媒体のチラシの配布とSNSでのPRについて、各事業で取り組んで参りましたが、紙媒体のチラシを届ける際には、子どもたちに素早く丁寧に届ける配慮ができていたかの振り返りが必要です。学校現場に負担をかけないためには、より丁寧な事前の仕分け作業が重要であり、それを行うためには、対内的なメンバーの結集が不可欠です。

審議可決後に、広報にエネルギーを注ぐための事前の計画を、丁寧に練っていくことを共有していきたいと思えます。

続いて、SNSでの戦略的な広報計画の必要性についてです。2025年度は個別の事業において、有料広告も打って出しましたが、費用対効果の観点から言えば、課題が浮き彫りとなりました。日頃からの投稿を増やすこと、露出をあげること、リピーターを増やすこと、継続的にやるべきことをやらなくては、SNSも効果的にはなり得ません。

SNS単体の広報に、莫大な予算を投じることができないわけですから、今後は工夫が必要です。SNSのPRに長けたメンバーも増えてきましたから、その知見はおおいに共有いただいて、2026年度はより効果的なSNSでの広報について考えていただきたいと思えます。

2点目は参加動員についてです。

2025年度は会員拡大よりもメンバーの人財育成に重きを置いたところではありますが、せっかく丁寧に準備し、開催をする対外・公益的な事業にも関わらず、オブザーバーの呼び込みが限定的だったように思えます。

40歳をもって卒業をする当会のその制度上、運動に共感し、新たなメンバーを迎えて行かなければ、組織は衰退をしていきます。拡大対象者をお招きすればするほど、至らぬ点がないようにメンバーの細部にわたっての例会・事業に向けたシミュレーションがなされるとともに、自身のリハーサルを含めた参加率もあがっていくと私は考えております。

折しも2026年度は、小川理事長のもと15名の会員拡大を掲げております。その達成には、一人ひとりが当会の運動に誇りと自信を持ち、身近な方を誘っていく積極的な姿勢が必要です。

現在当会に在籍しているメンバーの年齢、卒業予定年次を踏まえると、メンバーのほとんどが、今後、理事長の職を担うこととなります。是非、2026年度は、全ての例会・事業への参加、100%出席を目指すとともに、オブザーバーを必ず1人お呼びする気持ちをもって臨んでいただきたいと願います。

以上2点を、例会・事業を振り返っての2026年度への申し送り事項とさせていただきます。

○ 出向について

1点目、ブロック役員の子輩出について

毎年のように続いてきた東京ブロック協議会への役員出向について、2025年度は石津遥香さんが、専務会をとりまとめる24LOM連絡会議議長として出向し、下半期は、運営専務の代行も担いました。その働きぶりは、『小平に石津あり』と言わしめるのに充分すぎるほどであり、当会メンバーが東京ブロックの事業に参加するにあたっては顔つなぎ役となってくれました。

ブロック役員輩出のメリットは様々ありますが、その1つは、ブロックの事業の日程が早い段階で共有されることです。2025年度も東京ブロック内で多くの事業が開催され、後述するアカデミー研修委員会を始め、多くのメンバーが広域的な事業に参加する機会を得ることができました。伊澤専務による情報発信の早さもさることながら、石津議長による声かけの早さは素晴らしかったです。また、ブロック役員の子輩出2点目としては、ブロックの事業に、『役員1人で行かせるわけにはいかない、理事長1人で行かせるわけにはいかな

い』という仲間意識、連体感が醸成されることだと考えます。

2026年度は私自身がブロック役員として出向いたしますので、情報発信とメンバーの動員を励んでいきたいと思っております。

2点目、アカデミーへの出向について

今年も多くのメンバーをアカデミーに送り出せました。小平青年会議所としても、全体委員会には全て複数名で応援に行くだけでなく、塾会議が小平で開催された際には、会としてお出迎えをいたしました。

なお、2025年度のアカデミー出向の中で特筆すべき事項は、赤坂暁広君が、アカデミーグランドスラムを達成したことです。これは、全ての全体委員会と塾会議に参加し任意参加である宿泊事業にも参加した方だけが選出されるもので、毎年140名近くのアカデミー生がいますが、数人程度しか受賞者はいません。直近の小平においても受賞者がいたことは聞いたことがございません。

人脈が広がれば広がるほど本業に良い影響を及ぼす方は、ぜひ2026年度以降も積極的に出向していただきたいと思っております。

私は常々、アカデミーは生涯の友が3人できると、メンバーの皆さんに伝えるところでございますが、アカデミーを1年間走りきれるかどうかは、本人のモチベーションはさることながら、会全体のサポートが必要です。今年も多くメンバーがアカデミーメンバーのサポートに臨んでくれました。2026年度も同様に、皆でアカデミーメンバーを支え、盛り上げていきましょう。

○ 結びに

本年度は年度途中入会者2名、年度途中退会者3名、卒業生2名となり、組織としては横ばいではありましたが、人財の成長という点では大きな成果があった一年であったと考えております。来年度に向けては、本年度の反省点を活かし、より一層の組織力向上と事業の充実を図ってまいります。

臨時社員総会にて理事長予定者となってからの1年半にわたって支えていただきました、伊澤専務をはじめといたします理事メンバーの皆さん、フロアメンバーの皆さん、賛助会員の皆様、金田会長をはじめといたしますシニアクラブの皆様深く感謝を申し上げ、2025年度理事長報告とさせていただきます。

本当にありがとうございました。

2025年度 副理事長報告

副理事長
小川 健太

本年度一年間、皆さまには多大なるご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。
2025年度は「信じ託す」という方針のもと、委員会の主体性を尊重し、メンバーひとりひとりが自ら考え行動する組織運営を目指して活動してまいりました。私自身にとっても、これまでとは異なる関わり方を求められる一年となりました。

私が担当いたしましたLOVE & PEACE委員会では、委員長を中心に、それぞれの事業に真摯に向き合い、着実に取り組んでいただきました。

1月度例会としての賀詞交歓会、8月例会では戦争をテーマとした事業、12月には防災事業を担当し、いずれも社会的意義の高い内容となりました。準備や運営において困難な局面もありましたが、委員会メンバーの尽力により、すべての事業を無事に、かつ意義ある形で実施することができました。

一方で、委員会運営や助言の在り方については、反省すべき点も多くあったと感じております。そのような中、判断に迷う場面では瀬上創太外部顧問にご助言をいただき、大変心強く感じるとともに、深く感謝申し上げます。

また、委員メンバーには常に高い水準を求めてきたため、厳しく映ることもあったかと存じますが、JCが「修練」の場であるという原点を大切に、成長につながる機会を提供することを第一に考えてまいりました。

最後に、本年度の運営にご理解とご協力を賜りましたすべての皆さまに、深く感謝申し上げます。
以上をもちまして、副理事長報告とさせていただきます。

2025年度 副理事長報告

副理事長
石津 遥香

1年間大変お世話になりありがとうございました。

2025年度は「信じ託す」のスローガンを形にすべく、委員会を信じて基本的には自ら考えてもらうことを意識して、私にとっても挑戦の1年でした。

担当のHAPPY&SMILEメンバーは、委員長をはじめとして大きな事業にも果敢に挑戦してくれました。3月例会は職業能力開発総合大学校と、5月事業は急遽お話をいただいた陸上自衛隊 小平駐屯地・カブスカウトのみなさんと、11月例会は嘉悦大学のご協力をいただいて事業を実施することができました。多くの関係団体の皆さまとの連携で、単独で行うよりも調整も複雑で大変な事業ばかりでしたが、すべての事業が満足度高く形にすることができたのも委員メンバーのおかげです。担当副理事長としても、貴重な経験をさせていただきました。

上手く委員会を導いたり、適切な助言はできなかつたのが反省点ではありますが、迷走したときには宮崎外部顧問にも助けていただき、感謝をしています。

委員メンバーには常に高いレベルを求めてきたので、口うるさく映ったこともあつただろうと思っています。しかし、JCは自ら選んで入っている「修練」「自己研鑽」の場であるということを忘れずに、どうすればメンバーが成長を実感できるのかを考え、機会を提供し続けるという副理事長の使命を引き続き果たしてまいります。

結びとなりますが、ブロック出向でLOMIにコミット出来ない分を補完してくれて、ともに悩み、小平JCをより良くするにはどうすればいいのかを真剣に議論できた理事長をはじめとする正副メンバーの仲間にも心からの感謝を伝え、副理事長報告とさせていただきます。

2025年度 専務理事報告

専務理事
伊澤 豪馬

2025年度、専務理事という大役をお預かりさせていただき、数多くの貴重な経験を積ませていただきましたこと、心より感謝申し上げます。

そして、このような機会を与えてくださいました福室理事長に、この場をお借りして改めて深く御礼申し上げます。

本年度、専務理事として理事長公務への随行、事務局の管理監督、諸大会参加の取り纏め、正副理事長会および理事会の運営、外部との連絡窓口など、多岐にわたる職務を務めさせていただきました。

理事長公務への随行では、東京ブロック協議会の会員会議所会議をはじめ、小平青年会議所シニアクラブ役員会、シニアクラブゴルフコンペなど、多くの会議・行事にご一緒させていただき、LOM内だけでは知り得ない各所での活動や、事業を実施するまでのプロセスを学ぶことができ、大変貴重な経験となりました。また、同期専務理事同士の交流も盛んで、年間6回のゴルフコンペを通じて懇親を深め、各地青年会議所が抱える課題や悩みを共有することもでき、大変大きな刺激を受けました。そして、24LOM連絡会議の議長として各地の専務理事を支え、更には毎回のゴルフにもご参加いただきました石津議長に、心より感謝申し上げます。

事務局の管理監督としては、2つの例会と1つの事業を担当し、2月の通常社員総会、12月の事業報告会並びに卒業式、そして7月には会員拡大に資する事業を実施いたしました。

通常社員総会および事業報告会並びに卒業式では、岡田事務局長の責任感ある的確な指揮のもと、関係諸団体・関係者の皆様へ当会の活動をご報告することができました。また、本年度は2名の卒業生の新たな門出をお祝いし、無事に小平青年会議所を送り出すことができました。

7月の拡大事業では、事務局メンバーが一丸となり、拡大対象者をビジネスパーソンに絞り、「参加者同士で必ず仕事を依頼し合う」という条件のもと事業を実施いたしました。結果として仕事の依頼や新たな繋がりは生まれたものの、本事業を通じての入会には結びつかず、課題も残る結果となりました。この反省を次年度以降の拡大活動に活かしていきたいと考えております。

諸大会参加の取り纏めでは、日本青年会議所や各主管LOMの皆様が作り上げる京都会議、サマーコンファレンス、全国大会、関東地区大会などへの参加動員を務めさせていただきました。特に新年最初の京都会議では、参加者9名中6名が初参加となり、毎年決まったメンバーだけが参加しがちな諸大会に新たな仲間を巻き込むことができ、会としての団結力も一層高まったように感じております。

正副理事長会および理事会の運営については、これまで6年間理事メンバーとして会議に携わってまいりましたが、運営する側に立つことで、これまでとは全く異なる役割であることを学ばせていただきました。これまででは議案を読み込み、適切な意見や質問を行うことが主な役割でしたが、専務理事としては、まず定足数を満たす日時で案内を流すこと、配信期日が遵守されるよう促すこと、そして議案書の内容が各フェーズにふさわしいクオリティになっているかを確認することなど、これまでとは異なる視点で理事会運営に携わらせていただきました。

最後に、他LOMの専務理事と自身を比較すると、至らぬ点や我儘に振舞ってしまった点多々あったことと思います。それでも最後まで専務理事という大役を全うできたのは、福室理事長をはじめとする執行部の皆様、そしてメンバー一人ひとりの思いやりと支えがあったからこそだと、心から感じております。本当にありがとうございました。

本年度、新たに得た知識や経験、そして友情を、今後のJC活動、そして私自身の人生に活かしてまいります。

一年間、本当にありがとうございました。

2025年度事業報告

1. 総会

日時	場所	審議内容	出席人数
2025年 2月14日 19:30～20:45	中央公民館 講座室2	第69回通常社員総会 第1号議案 2024年度事業報告承認の件 第2号議案 2024年度決算報告並びに監査報告承認の件 第3号議案 2025年度補正予算承認の件 第4号議案 2025年度年間活動計画修正の件	正会員20名中13名 (本人出席13名・委任状出席者5名・欠席2名)
2025年 7月13日 20:00～20:32	中央公民館 講座室1	第1回臨時社員総会 第1号議案 2026年度理事長候補者選出及び承認の件 第2号議案 2026年度監事選任および承認の件 第3号議案 2026年度選挙理事及び推薦理事承認の件 第4号議案 2025年度補正予算承認の件	正会員21名中21名 (本人出席13名・委任状出席者5名・欠席者3名)
2025年 12月22日 18:30～18:52	事務局及び ZOOM	第2回臨時社員総会 第1号議案 2025年度一般社団法人小平青年会議所一般会計補正予算(第3号)承認の件 第2号議案 2026年度理事長所信並びにスローガン承認の件 第3号議案 2026年度組織図承認の件 第4号議案 2026年度年間活動計画承認の件 第5号議案 2026年度年間予算計画承認の件	正会員21名中14名 (本人出席10名・委任状出席者4名・欠席者7名)

2 例会・事業

	日時	場所	例会・事業内容	出席者数	出席率
1月度例会	1/18	嘉悦大学 カエツホール	『新春賀詞交歓会 信じ託す～語ろうとに進もう前へ～』	20名	100%
2月度例会	2/14	小平市立中央公民館 講座室2	『第69回通常社員総会』	13名	63.0%
3月度例会	3/23	職業大2号館6階	『回って光る！！ペットボトル風力発電機を作ろう！！』	14名	70.8%
5月度事業	5/18	陸上自衛隊 小平駐屯地	『小平防災体験教室』	14名	70.8%
7月度事業	7/12	大衆酒場 新参者小平店	『ビジネスマッチング』	9名	37.5%
8月度例会	8/30	小平市立小平 第一小学校体育館	『平和事業～語り継ぐ戦争の記憶～』	12名	68.2%
10月度例会	10/5	小平市福祉会館 第2集会室	『ハラスメントを知る～その一言アウトです～』	10名	41.6%
11月度例会	11/22	嘉悦大学 嘉悦記念体育館	『こだいらなわとびチャレンジカップ2025』	14名	60.9%
12月度例会	12/6	白梅学園大学	『防災体験教室』	19名	52.2%
12月度例会	12/11	小平市立中央公民館 ホール	『2025年度卒業式 信じ、託す～語ろうとに進もう前へ～』	16名	64.0%

3. 理事予定者会議・理事会

日時	場所	審議事項
第1回次年度 スタッフ会 2024年8月8日	事務局	なし
第2回次年度 スタッフ会 2024年8月29日	事務局 ZOOM	なし
第1回 臨時次年度 スタッフ会 2024年9月5日	ZOOM	なし
第3回次年度 スタッフ会 2024年9月24日	事務局	第1号議案:2025年度 一般社団法人小平青年会議所 第42代理事長所信並びにスローガン(案)の件 第2号議案:2025年度 一般社団法人小平青年会議所 組織図(案)の件 第3号議案:2025年度 一般社団法人小平青年会議所 年間活動計画(案)の件
第1回次年度 理事会 2024年10月23日	事務局	第1号議案 2024年度 一般社団法人小平青年会議所『賛助会員番号047番『株式会社明誠』入会認承(案)』の件 第2号議案 認承番号第334号『正会員 石井翼君』入会認承(案)の件
第2回次年度 理事会 2024年11月27日	事務局	第1号議案 2025年度 一般社団法人小平青年会議所 年間活動計画(案)の件 第2号議案 2025年度 一般社団法人小平青年会議所 組織図(案)の件 第3号議案 2025年度 一般社団法人小平青年会議所 年間予算計画 補正予算第1号(案)の件 第4号議案 2025年度一般社団法人小平青年会議所 LOVE&PEACE委員会年間事業計画(案)の件 第5号議案 2025年度一般社団法人小平青年会議所 HAPPY&SMILE委員会年間事業計画(案)の件 第6号議案 2025年度一般社団法人小平青年会議所 事務局委員会年間事業計画(案)の件 第7号議案 2025年度一般社団法人小平青年会議所 1月度例会 新春賀詞交歓会(案)の件
第3回次年度 理事会 2024年12月23日	事務局	なし
第1回理事会 2025年1月21日	事務局	第1号議案 2025年度 一般社団法人小平青年会議所 2月度例会『第69回通常社員総会』(案)の件 第2号議案 2025年度 一般社団法人小平青年会議所 3月度例会『回って光る！！ペットボトル風力発電機を作ろう！！』(案)の件
第1回臨時理事会 2025年2月5日	事務局 ZOOM	第1号議案 2025年度 一般社団法人小平青年会議所 『賛助会員番号048番『株式会社ベストワーク』入会認承』(案)の件 第2号議案 2025年度 一般社団法人小平青年会議所 『賛助会員番号049番 日本競輪選手会静岡支部所属渡邊颯太 入会認承(案)』の件 第3号議案 2025年度 一般社団法人小平青年会議所 『賛助会員番号050番 株式会社 多摩グリーンサービス入会認承(案)』の件 第4号議案 2025年度 一般社団法人小平青年会議所 『年間活動計画修正(案)』の件 第5号議案 2025年度 一般社団法人小平青年会議所 年間予算計画 補正予算(第2号)(案)の件
第2回臨時理事会 2025年2月14日	中央公民館講座室2	第1号議案 2025年度 一般社団法人小平青年会議所 3月度例会『回って光る！！ペットボトル風力発電機を作ろう！(案)』の件
第2回理事会 2025年2月19日	事務局 ZOOM	第1号議案 2025年度 一般社団法人小平青年会議所 1月度例会『新春賀詞交歓会 信じ託す～語ろうともに進もう前へ～』報告の件
第3回理事会 2025年3月26日	事務局	第1号議案 2025年度 一般社団法人小平青年会議所 『組織図修正(案)』の件 第2号議案 2025年度一般社団法人小平青年会議所『選挙管理委員会設置』(案)の件 第3号議案 2025年度 一般社団法人小平青年会議所『新人企画特別委員会設

		置』(案)の件 第4号議案 2025年度 一般社団法人小平青年会議所 2月度例会『第69回通常社員総会』報告の件 第5号議案 2025年度 一般社団法人小平青年会議所 5月度事業 JCサークル『小平防災体験教室』日時・場所・事業タイトル承認(案)の件
第4回理事会 2025年4月23日	事務局	第1号議案 2025年度 一般社団法人小平青年会議所 3月度例会『回って光る！！ペットボトル風力発電機を作ろう！』報告の件 第2号議案 2025年度 一般社団法人小平青年会議所 5月度事業 JCサークル『小平防災体験教室』(案)の件
第5回理事会 2025年5月28日	事務局	第1号議案2025年度 一般社団法人小平青年会議所 7月度事業『ビジネスマッチング』～チョコビジ～(案)の件
第6回理事会 2025年6月30日	事務局 ZOOM	第1号議案2025年度 一般社団法人小平青年会議所 5月度事業 JCサークル『小平防災体験教室』報告の件 第2号議案2025年度 一般社団法人小平青年会議所 『8月度例会 平和事業 ～語り継ぐ戦争の記憶～(案)』日時・場所・事業名・後援依頼の件
第3回臨時理事会 2025年7月13日	ZOOM	第1号議案 認承番号第346号『正会員 若尾 武志 君』入会認承の件 第2号議案 2025年度一般社団法人小平青年会議所 一般会計補正予算(第3号)(案)承認の件 第3号議案2025年度 一般社団法人小平青年会議所 『8月度例会 平和事業 ～語り継ぐ戦争の記憶～(案)』チラシ案、チラシ印刷費用、配布用封筒承認依頼の件
第7回理事会 2025年7月23日	事務局	第1号議案 2025年度 一般社団法人小平青年会議所『8月度例会 平和事業 ～語り継ぐ戦争の記憶～(案)』
第8回理事会 2025年7月23日	事務局	第1号議案 2025年度 一般社団法人小平青年会議所 7月度事業『ビジネスマッチング』～チョコビジ～報告の件 第2号議案 2025年度 一般社団法人小平青年会議所11月度例会『こいだいらなわとび チャレンジカップ 2025』日時・場所・事業タイトル・チラシ承認(案)の件
第9回理事会 2025年9月29日	事務局 ZOOM	第1号議案 2025年度 一般社団法人小平青年会議所 8月度例会 平和事業 ～語り継ぐ戦争の記憶～報告の件 第2号議案 2025年度 一般社団法人小平青年会議所11月度例会『こいだいらなわとび チャレンジカップ 2025(案)』の件
第10回理事会 2025年10月21日	事務局	第1号議案 2025年度 一般社団法人小平青年会議所 褒賞委員会設置(案)の件 第2号議案 2025年度 一般社団法人小平青年会議所 12月度事業「防災イベント」(案)の件 第3号議案 2025年度 一般社団法人小平青年会議所 12月度例会『2025年度 事業報告会並びに卒業式 信じ託す～語ろうともに進もう前へ～』(案)の件
第11回理事会 2025年11月26日	事務局 ZOOM	第1号議案 2025年度一般社団法人小平青年会議所 一般会計補正予算(第4号)
第12回理事会 2025年12月23日	事務局 ZOOM	第1号議案 認承番号第348号『正会員 青木 崇隼 君』入会認承の件 第2号議案 認承番号第349号『正会員 大谷 有矢 君』入会認承の件 第3号議案 認承番号第350号『正会員 小山 翔太郎 君』入会認承の件 第4号議案 2025年度 一般社団法人小平青年会議所 10月度例会『ハラスメントを知る～その一言アウトです～』報告の件 第5号議案 2025年度 一般社団法人小平青年会議所 11月度例会『こいだいらなわとび チャレンジカップ 2025』報告の件 第6号議案 2025年度 一般社団法人小平青年会議所 12月度事業「防災イベント」報告の件 第7号議案 2025年度 一般社団法人小平青年会議所 第8号議案 12月度例会『2025年度 事業報告会並びに卒業式 信じ託す～語ろうともに進もう前へ～』報告の件

4. 選挙管理委員会報告

一般社団法人小平青年会議所
2025年度選挙管理委員会

副委員長 岡田 慎平

2025年3月26日の理事会において、定款および一般社団法人小平青年会議所理事長選挙に関する規定に基づき、2025年度一般社団法人小平青年会議所選挙管理委員会が設置されました。そして下記メンバーが委員会構成員として指名を受け、2024年度の理事長及び理事選出についての選挙管理を委託されました。

2025年度理事選挙管理委員会を開催し、下記の事項を確認し、委員が決定されました。

委員長 土居 雄大
副委員長 岡田 慎平
委員 山口 彩花
委員 石井 翼
委員 寺島 一郎

確認事項

- イ. 一般社団法人小平青年会議所 理事長選挙に関する規定・役員選任に関する規定・選挙管理委員会に関する規定に則り行う。但し、選挙管理委員会に関する規定は委員会に付託するものとする。
- ロ. 選挙管理委員会規定に則った実施スケジュールをもって行う。
- ハ. 選挙案内、結果通知はメール・LINEにて配信する。

2025年度 理事長選挙実施結果

2025年4月24日

2026年度理事長当選人
小川 健太 君

以上

5. 褒賞受賞者

褒賞委員会報告

2025年度一般社団法人小平青年会議所
褒賞委員会
委員長 福室 英俊

第1 委員会の設置

1. 2025年10月21日 第10回理事会において委員会設置議案審議可決
2. 構成メンバー 福室理事長、石津副理事長、小川副理事長、伊澤専務理事

第2 褒賞の審査

2025年11月31日までに理事から申請書を受領した。
翌12月1日から12月15日にかけて委員会において厳正な審査を行った。

第3 褒賞の発表

2025年12月18日褒賞の発表を行った。
発表は、具体的に理由を示して行った。
褒賞の結果は別紙のとおり。

第4 委員会の解散

2025年12月18日の褒賞の発表の後、2025年度褒賞委員会を解散した。

以上

褒賞結果

2025年度一般社団法人小平青年会議所
褒賞委員会

1. 最優秀Jaycee賞

HAPPY&SMILE委員会 委員長 宮地 健太郎 君

以下、授賞理由

- ・入賞理由といたしましては、3月に実施されたペットボトル例会での目標値を上回る動員やこどもたちの未来に繋がる内容だった。
- ・委員長としての責任と自覚。よく思考し、よく行動し、とても頑張っていました。

2. 優秀Jaycee賞

LOVE&PEACE委員会 委員 前川 浩一 君

以下、授賞理由

- ・担当委員会や新人委員会も含めとても積極的に委員会に関わっており、次年度専務も担当するため、すごいと感じました。
- ・下半期の成長が著しいと感じました。担当委員会と新人委員会、更には次年度専務にくらいついて頑張っている姿勢に感銘を受けました。

3. 最優秀グループ賞

HAPPY&SMILE委員会

以下、授賞理由

- ・ゼロベースからの事業構築を行い、今年度の活動に大きく貢献しました。また、良い準備で、福室理事長の信じ託すを実践した委員会でした。計画通りにできなかったことも様々あるかと思いますが、それも次に活かしていけるみなさんだと信じています。

4 最優秀新人賞

HAPPY&SMILE委員会 委員 山下 真菜 君

以下、授賞理由

- ・積極的に事業に参加している姿を拝見しすごいと感じました。
- ・表には見えないところでの努力や貢献は素晴らしく、特に広報については外部団体にも認められる才能で素晴らしい広報物をつくったり、独自の人脈でラジオでの広報にも成功しました。

以上

2025年度LOVE&PEACE委員会報告

LOVE & PEACE委員会

委員長	恩田 修二				
副委員長	菊永 祐太				
委員	前川 浩一	土居 雄大			
委員会基本方針					
<p>LOVE & PEACE委員会は2025年度1月度例会、8月度例会の2つの例会を担当いたします。</p> <p>1月には賀詞交歓会を行い、理事長に1年の思いや方向性を述べて頂きます。小平JCのビジョンや使命を明確に伝え、来場された方々に強いインパクトを与える機会とします。 本例会を通じて市内関係諸団体・ご来賓・賛助会員・各地会議所の方々との関係を強化し、当会の例会や運動が周辺地域や団体に知っていただく事で小平青年会議所としての存在感を示し地域の方々に必要とされる団体になります。</p> <p>8月には戦争と平和について考える例会を行います。 2025年は戦後から80年の節目の年となります。終戦の1945年までに生まれた人は、この10年で1000万人以上減りました。戦時下の様相が風化する前に、私たち若い世代こそが話を聞いたり体験をすることで我が身を当時の人たちの気持ちに置き換えて永年に語り継げれる事業にします。</p> <p>LOVE & PEACE委員会は1年の中で最初と中間の例会を担当します。 年間最初の例会で良いスタートを切ることで2025年の小平JCの勢いが決まると考えており、中間の例会ではその勢いを加速させていけるようにメンバーを巻き込んでいきたいと考えております。 各委員会を先導していくことで全体のチームワークや団結力を強固なものとし、これからの小平JC全体に良い雰囲気を作り上げます。さらにこの雰囲気を次回以降担当する委員長に引き継ぐことで、それぞれのメンバーに生涯の友を作るきっかけにしたいと思います。</p>					
委員会活動報告					
<p>・1月度例会では「新春賀詞交歓会 信じ 託す～語ろうともに進もう前へ～」を開催しました。 次年度段階から準備を進め未経験ながらも奮闘して福室理事長の新たな門出を皆で作りました。久しぶりに嘉悦大学の体育館を貸していただき地元の方の協力も募り100%例会を達成しました。</p> <p>・8月度例会では、終戦80周年の節目に「平和事業」を行いました。 地元の小学生をお招きして語り部の方のお話を皆で聴きました。その際、戦争の悲惨さを学び後世に語れる人材を育成し改めて戦争をしない事の決心を強めました。午後には、当時の食事の再現を行い皆様に振る舞いました。今の生活がいかに幸せなのかを認識した1日でした。</p> <p>・12月には「防災事業」を開催しました。 白梅大学と小平福祉協議会の皆様とともにこれから起こりうる災害をシュミレーション形式で行いみんなと何かが起きた時に率先的にリーダーシップを取り災害センターと避難所開設が出来るように学びました。午後は、防衛省の協力の元降雨体験車と災害体験車をお呼びして実際に起こりうる災害を体験することにより起きた時に皆が動けるように学びました。学生ボランティアの方にも協力して頂き青年会議所運動にも興味を持っていただける1日になりました。</p>					
委員会事業(例会)の概要					
(1)	2025年度 一般社団法人小平青年会議所 1月度例会 『新春賀詞交歓会 信じ 託す ～語ろうともに 進もう前へ～』				
(2)	2025年度 一般社団法人小平青年会議所 8月度例会 「平和事業～語り継ぐ戦争の記憶～」				
(3)	2025年度 一般社団法人小平青年会議所 12月度事業 「防災イベント」				
委員会基本方針に対する実現と成果					
実現	1月の賀詞交歓会では理事長にしっかりと初心を述べていただきインパクトを与えることが出来ました。				
成果	成果として青年会議所運動では久方ぶりに100%例会を達成しメンバー皆でしっかりと理事長のお気持ちを聞き入れて運動に邁進出来たと思います。「信じ託す」を念頭に入れメンバー皆でこの一年成長できたと思います。				
問題点					
<p>問題点としまして、やはりこれからの問題でもあるメンバーの巻き込み方と熱量の違いがあると痛感しました。1月は100%でしたが8月と12月とメンバーの参加率も乏しく巻き込み方を考えていかなきゃならないなと思いました。</p>					

次年度以降への申し送り事項

- ・メンバーへの巻き込みにはしっかりと可決したらすぐにALLに流し常に100%を意識してください。
- ・主催が他団体でも当事者意識を持ち常にコミュニケーションをお取りください。
- ・やはり、出会いは嬉しいが別れはさみしいです。委員メンバーへのサポートや手助けはご意識ください。

LOVE&PEACE委員会

委員長報告

恩田 修二

私は、2024年度に入会し委員長は初めての経験でした。最初にお話を頂いて二つ返事で答えてしまいましたが、現実はそのなにか甘くなかったです。ですが、大変勉強になりました。

途中のメンバーの脱退だったり期日厳守のルール徹底など凄くやることや気にかけることが多くそのタスク管理に苦戦しましたがやり切った時の達成感やメンバーへの感謝は計り知れないものでした。この感情は委員長になった人にしか分らないと思います。

これらの経験をふまえ、再び委員長のお話を頂くことがあったら二つ返事で答えようと思います。

本当にこの一年は私にとって貴重で大切な一年になりました。そして、支えてくれた監事の皆様、顧問の皆様、執行部の皆様、フロアメンバーの皆さま、最後に、ついてきてくれた委員会メンバーの皆様本当にありがとうございました。

以上、委員長報告とさせていただきます。



2025年度HAPPY&SMILE委員会報告

HAPPY&SMILE委員会

委員長	宮地 健太郎		
副委員長	石井 翼		
委員	山下 真菜	長田 真沙妃	赤崎 輝
	鈴木 勇地		
委員会基本方針			
<p>HAPPY&SMILE委員会では、3月度例会、11月度例会の2つを担当します。</p> <p>3月度例会では、こどもたちの「知的好奇心の探求」をテーマに事業を行います。ものづくりは、単なる生産活動ではなく、知的好奇心を原動力として、創造力や挑戦心を育むものです。これからの日本を担う次世代に、ものづくりの重要性を伝えていくことが、これからの日本の競争力を支えるためにも求められています。</p> <p>当事業では、学校のカリキュラムでは経験できないような体験や、様々なものづくりの専門家を招き、こどもたちを巻き込み、ものづくりやモノの仕組みを知るワークショップを行います。ものづくりを通じて、こどもたちの知的好奇心を養うような事業にしていきます。</p> <p>11月度例会では、集団行動と仲間づくりの機会を提供する事業を行います。コロナ禍で幼少期を過ごしたこどもたちは、多くの事業・イベントが中止になり、チームで目標に向かって切磋琢磨する機会が減っています。</p> <p>また、スポーツ庁の調査によると小中学生の体育の授業以外の運動時間は、減少傾向が続いていますが、運動が「好き」「やや好き」と答えた児童生徒は80～90%です。</p> <p>こうした背景から、スポーツを通じて仲間とともに挑戦する経験や、他者とのコミュニケーションをとる機会を提供するような事業にしていきます。</p> <p>この2つの事業を通じて、こどもたちが自らの可能性を広げ、笑顔と共に成長できる環境を整えていきたいと考えています。</p>			
委員会活動報告			
<p>1月から3月にかけては、3月度例会の構築および共催先である職業能力開発総合大学校との調整、広報活動を実施しました。3月23日に3月度例会を完遂した後、4月から5月は自衛隊小平駐屯地を含む諸団体と役割分担を協議し、5月度事業の企画を進めました。5月25日に防災体験教室を実施し、6月から11月にかけては嘉悦大学と連携しながら11月度例会の構築と市内小学校への広報に注力し、11月22日に11月度例会を実施しました。</p>			
委員会事業(例会)の概要			
(1)	3月度例会『回って光る！！ペットボトル風力発電機を作ろう！』:ものづくりへの関心を高め、創意工夫の楽しさを知ることを目的とした工作ワークショップを実施しました。		
(2)	5月度事業 JCサークル『小平防災体験教室』:自衛隊等の協力を得て自助の力を養う体験を提供し、同時に小平JCの認知拡大とオブザーバー動員による会員拡大を図りました。		
(3)	11月度例会『こだいら なわとび チャレンジカップ 2025』:大縄跳びを通じて、仲間と目標に向かって切磋琢磨し、他者と協力することの大切さを学ぶ機会を提供しました。		
委員会基本方針に対する実現と成果			
実現	知的好奇心の探求として、学校教育では得られない実践的な工作体験を3月に提供しました。また、スポーツを通じた仲間づくりの場として、11月にチーム対抗の競技会を実現しました。		
成果	3月度例会では「ものづくりへの関心」に関する肯定的回答が100%に達しました。3月度例会参加者の27%が5月度事業にも参加しており、継続的な関係構築の可能性を示しました。また、11月度例会でも、チーム協力の重要性について89.5%の肯定的回答を得ています。		
問題点			
<p>最大の課題は動員の苦戦であり、特に11月は目標270名に対し実績19名と大幅に未達となりました。家庭での練習が困難な競技選定や、広報開始の遅れ、団体参加のハードルの高さが影響しました。運営面では、予算の当日購入に関する報告不足や、備品管理のミス、ボランティアに頼り切りになりメンバーが手持ち無沙汰になる場面が見受けられました。</p>			
次年度以降への申し送り事項			

広報活動は学校配布チラシに依存せず、塾、体操教室、地域店舗など幅広い層へ早期にアプローチを開始してください。事業構築時には参加条件(競技用具の有無や最少催行人数)を精査し、参加しやすい仕組みを初期段階で組み込むことが不可欠です。運営においては、ボランティアがいてもメンバーのみで完遂できる綿密な役割分担を策定し、事前リハーサルで備品と進行を徹底確認してください。また、予算の変更や当日購入が生じる際は、必ず理事長・監事へ事前に相談し指示を仰ぐという組織ルールを徹底してください。

HAPPY&SMILE委員会 委員長報告

宮地 健太朗

2025年度、HAPPY&SMILE委員会は「こどもたちの成長と笑顔」を核に3つの事業を完遂しました。3月度例会「ペットボトル風力発電機」では、ものづくりを通じた知的好奇心の探求を掲げ、満足度100%という成果を得ました。5月度事業「小平防災体験教室」では会員拡大に注力し、5名のオブザーバー参加と1名の入会希望者を得るなど、組織の活性化に貢献しました。3月事業からのリピーター率が27%に達したことは、我々の活動が地域に価値を認められた証であり、大きな自信となりました。一方で、11月度例会では動員が目標に対し大幅に未達となる厳しい現実と直面しました。競技選定における参加ハードルの見落としや広報開始の遅れなど、事業構築段階での戦略の甘さが露呈しました。また、運営面でも予算管理の不備やボランティアへの過度な依存といった課題が浮き彫りとなりました。

これらの成功と失敗の記録は、次年度以降がより強固な事業を構築するための不可欠な糧となると確信しています。一年間共に走り抜いた委員会メンバー、ご指導いただいた理事会、協力団体の皆様に深く感謝し、報告とさせていただきます。



2025年度事務局報告

事務局

局長	岡田 慎平		
次長	山口 彩花		
局員	赤坂 暁広	寺島 一郎	町田 あかり
事務局基本方針			
<p>事務局は、一般社団法人小平青年会議所の、各種事務手続きやその管理、諸団体との窓口の他、広報活動等、諸般の活動を行い、当会の運営をサポートしてまいります。</p> <p>一般社団法人小平青年会議所は地域活性や青少年育成等の運動を多く展開しております。この運動を我々だけで完結せず、市内の多くの方々へ発信して地域に広めることが重要です。そのためにも、例会担当委員会と協力して、例会や事業の開催情報等を会の内外に発信してまいります。また、事務局内はもとより、会員同士の日々の交流の機会や親交を深められる機会を設け、会員一人一人と顔の見える関係性を構築し活動に参加しやすくなる環境を整えてまいります。そして、執行部の活動、理事会や各委員会の例会や事業、会議等を滞りなく進められるようにサポートいたします。</p> <p>2025年度の事務局は2月と12月の2つの例会を担当します。 2月には、当会の最高意思決定機関である第69回通常社員総会を設営し、2024年度の事業報告および会計報告並びに2025年度の補正予算をご審議いただきます。 12月には、第41回目となる卒業式ならびに2025年度の事業報告会を開催いたします。また、卒業生が新たなステージへと快く旅立っていただけるように、卒業生のこれまでの功績に感謝の思いを込めて最高の準備をしていきます。 事務局は以上の点を主として1年間務めてまいります。</p>			
事務局活動報告			
<p>2月度例会『第69回通常社員総会』では、2025年度も当会の最高意志決定機関である通常社員総会を開催いたしました。前年度の決算と本年度の予算について正会員や賛助会員に対して報告をし、改めて承認していただきました。また、総会冊子の電子配信を初めて実施いたしました。</p> <p>7月事業『ビジネスマッチング～チョコビジ～』では、異業種交流会を開催いたしました。その日に簡単なお仕事を依頼し合い、次へ繋げるきっかけづくりをメインテーマに企画いたしました。参加者は少数ではありましたが、メンバーの誰ともつながりのない方に参加していただき、企画の可能性を感じました。ブラッシュアップすることで、より良い事業になる試金石になったかと考えます。</p> <p>12月度例会『卒業式並びに事業報告会』では、卒業生がこれまでの青年会議所運動を振り返り、培った経験や人脈をもって今後新たなステージに向かっていただけるように、現役メンバーで送り出しました。また活動報告にて、今年度の運動を報告し総括も行いました。今年度の新たな取組として、褒賞委員会を事業報告内に組み込み、実施いたしました。</p>			
事業(例会)の概要			
(1)	2月度例会『第69回通常社員総会』		
(2)	7月事業『ビジネスマッチング～チョコビジ～』		
(3)	12月度例会『卒業式並びに事業報告会』		
事務局基本方針に対する実現と成果			
実現	事務局基本方針通り無事に全例会を開催することが出来ました。		
成果	<p>2月度例会『第69回通常社員総会』では、今年度の新たな取組として、総会冊子の電子配信を実施し、印刷代や郵送費等の経費削減や、冊子作成におけるメンバーの事務負担軽減を実現いたしました。</p> <p>12月度例会『卒業式並びに事業報告会』では、今年度の新たな取組として、事業報告内に褒賞委員会を組み込み、参加者並びに正会員が飽きないように工夫いたしました。</p>		
問題点			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 総会冊子の電子配信における技術的な習熟と、迅速な配信。 2. 式典等で決められた事項やルール、暗黙の了解等の理解とメンバーへの浸透力不足。 3. 事務局内の備品整理や美化意識を考える余裕がなかった。 4. 公式HPの情報を一部更新できなかった。 			
次年度以降への申し送り事項			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 事務局備品と事業予算とをしっかりと分けて購入や準備を行うこと。 2. 他の委員会との橋渡しを率先して行うこと。縦割りではなく横串を意識すること。 3. 事務局倉庫の私物は年度初めに、処分すること。 4. 公式HPの情報が古いままなので、可及的速やかに更新することが望ましい。 			

事務局 局長報告

岡田 慎平

2025年度の事務局長の役をいただきました、岡田慎平です。2021年に入会以降、初めての事務局ラインであり、いきなりの局長スタートということで、戸惑いもございましたが、伊澤専務との強力な連携によって、無事に1年間乗り切ることができました。また、次長や局員の皆様にも、都度々々助けていただき、または教えたりと、拙い局長ではありましたが、よくぞまあ付いてきてくれたものと、感心するばかりです。ありがとうございました。

一緒に活動する中で、僕自身がわからなかったり、どうしようかと逡巡する中、とりあえずやってみる、動いてみる、こうしたらどうか、と様々に提案や出たとこ勝負なんのそのという性分の人間が多く集まったこともあり、「まあ、なんとかなる」という、およそ大っぴらには言えない、ここで書いているので皆の知るところになる訳ですが、良い意味で強い事務局体制であったのではないかと勝手に思っております。

特に総会や卒業式のように、ある程度決まった枠組みの中で、物事を進める事業構築が多い役回りでしたが、それも2025年度の事務局の性分に合っていたのではないかと思います。逆に、全くのゼロベースから事業構築を行った7月事業が一番苦戦しました。そもそも予定では6月事業だったのですが、私と専務、局員の仕事の都合で、6月はスケジュール的に難しいこともあり、理事会においてもそうした状況を見かねたのか時期を動かす意見も出て、内心申し訳なさで一杯でしたが、実際には非常に助かりまして、こういう時のメンバーへの感謝は、絶対に忘れんなあということで、助けられてばかりの至らない事務局長でしたが、楽しく1年過ごさせていただきました。

事務局の事業でやりたいことは特になかったのですが、泉蔵院の実際の事務局内の倉庫や備品整理を完全にまっさらにして、一から整理整頓し、当会に必要なものという視点できれいに整理整頓したかった。また、当会の公式HPにおける既に卒業した先輩が載っているメンバー紹介のページを最新のものに更新すること、当会のSNSアカウントの連携を速やかに実施し、いちいちそれぞれのアカウントを開いて投稿するのではなく、一括して投稿できるものについてはパッとできるようにしておく方が、今後の広報においても有益だろう。とは考えていても、いざやるかと言ったら重い腰が上がらずに、専務とそのうちやろうと言いつつ、1年が経過してしまったので、次年度にきちんと引き継ぎたいと思います。明日やろうは馬鹿野郎とはよく言ったもので、そのうちやろうも馬鹿野郎ということで、1年間ありがとうございました。



2025年度新人企画特別委員会報告

新人企画特別委員会

委員長	原 拓也		
副委員長	鈴木 勇地		
委員	前川 浩一	赤坂 暁広	山下 真菜
	寺島 一朗		
委員会基本方針			
①次年度以降の運営メンバーとなる人材を育てるべく、新入会員自らが企画し事業構築を学ぶ場とする ②委員長および担当副理事長は、適切な助言を行い、新人メンバーを支援する			
委員会活動報告			
<p>10月5日に10月度例会『ハラスメントを知る ～その一言アウトです～』を開催しました。 東京弁護士会から講師をお招きしてハラスメント講習を実施いただくとともに、日常生活や青年会議所活動において起こる可能性が高いハラスメントを題材として新人メンバーが寸劇を行いました。また、最後は参加者一人一人がハラスメントに対する各自の想いを習字にしました。</p> <p>対内例会ではありましたが、オブザーバーとして新人メンバーが所属するアカデミーから同期塾生を招聘し、正会員のみならず、他LOMも巻き込んでハラスメントに対する理解を深めることができました。</p>			
委員会事業(例会)の概要			
(1)	10月度例会『ハラスメントを知る ～その一言アウトです～』		
委員会基本方針に対する実現と成果			
実現	1番項:実施及び実行しました。		
成果	<p>「ハラスメントについて自信をもって人に説明できますか?」というアンケート設問に8割以上から「自信をもって説明ができる」との回答をいただく達成目標につき、下記回答が得られた。</p> <p>アンケート回答数:14件 「非常に自信がある」の回答数:3件(21.4%) 「ある程度自信がある」の回答数:10件(71.4%) 合計13件(92.8%)達成</p>		
問題点			
<ol style="list-style-type: none"> 1.スクリーンへ投影する関係上、室内が暗くなってしまい登壇者が目立たなくなってしまった。 2.ロールプレイについて、緊張により視線が台本にいきがちになった。 3.会場図で想定していた配置図では受講しづらいのでは?と当日指摘をいただき急遽変更した。 4.塾生の出迎えが、出入り口をよく把握していなかったためにすれ違い、出迎えが思うようにできなかった。 5.グループ分けを元から行う予定が、当日その場で決めることになった。 6.参加型のコンテンツにより盛り上がり、時間超過した。 7.オブザーバーの人数に比して、正会員の参加が振るわなかった。 			
次年度以降への申し送り事項			
<ol style="list-style-type: none"> 1.当日の天候にもよりますが、窓からの光の入り具合の確認やライト使用を検討するなどリハーサルを行ってください。 2.役割分担を明確にして、入念に練習を行ってください。 3.動かしやすさや復帰のしやすさだけでなく、その場面での適切な形をあと一歩考えるようにしてください。 4.会場となる施設について事前に把握をしておき、複数人で出迎えを行うようにしてください。 5.参加人数の確認が直前とにならないように、余裕を持って動いてください。 6.タイムキーパーの役割分担を明確にしてください。 7.グループLINEでの呼びかけに加えて、日頃の声かけを積極的に行ってください。 			

2025年度出向者報告

2025年度公益社団法人日本青年会議所 関東地区 東京ブロック協議会 24LOM連絡会議
議長 石津 遥香

2025年度公益社団法人日本青年会議所関東地区東京ブロック協議会の議長の職をお預かりしました。約1300名が所属する東京ブロック内24LOMの支援を行う東京ブロック協議会への議長職での出向は私にとっては大きな挑戦であり、ブロック役員としての務めが多くなるためLOMにも負担をかける場面が多々出てくることでもあったので、快く送り出してくれた福室理事長をはじめとする小平JCメンバーには深く感謝しています。

職務としては、24LOM連絡会議というブロック内24LOMの専務理事の皆さんをサポートし、東京ブロック協議会と24LOMの連絡調整を行う会議体の議長を担当しました。

主な担当事業としては日々の専務理事のサポート・相談窓口を担う他、京都会議や全国大会(佐賀大会)でのブロックナイトの企画運営、次年度理事長・専務セミナーの企画運営、ブロック年間の褒賞運営、さよならブロックでの褒賞部門の担当、さらには東京ブロック協議会の防災担当としての関東地区や対外団体との連絡窓口も務めました。

加えて年度の後半には運営専務代行として、運営専務の役割を事務局長とともに担当することとなり、東京ブロック協議会の運営について広く学ぶ貴重な経験をしました。

この1年間、議長として出向したことで得たものは多くありましたが、大きく下記の2点を得られたことは今後の私の人生にとって大きな財産となりました。

1点目は「機会の提供」の重要性を実感できたことです。

青年会議所は「機会の提供」を行う場であると言われてますが、ブロック役員として様々な機会をいただき、そこで得た経験はかけがえのないものでした。例えば、ASPACウランバートル大会でモンゴルまで行き、言葉が通じなくてもJCメンバーというだけで海外メンバーとも絆が生まれると知ったこと、他LOMの事業に参加し、各々の地域課題に取り組むメンバーを見て刺激を受けたこと、会長が掲げる「Push the limit!!」のスローガンのもと、何度も徹夜して自分の限界までJC運動を行った先にあった達成感等、議長を務めなければ得られなかった多くの機会が提供され、それによって価値観が変わるほどの衝撃を受ける経験が出来ました。

2点目は多くの仲間ができたことです。これは出向したメンバーは皆が言うことですが、ブロック役員として同じ目標に向かって苦しい日々をともに乗り越えたメンバーとの絆は強く、ちょっとしたことでも相談できるような先輩、仲間がたくさんできました。LOMの中だけでは会えないような人との出会いは私のモチベーションを常に上げ続けてくれました。何度もくじけそうになったり逃げ出したくなりましたが、そのたびに役員や出向している仲間がいてくれたので最後まで続けることが出来たと思っています。

今回出向させていただいた経験をLOMに還元するために、東京ブロック協議会をはじめ関東・日本のサポートに関する知識、今回得られた他LOMのメンバーとの関係性、そしてブロック役員としての経験を存分に生かして、小平JCメンバーにも伝えていきたいと考えています。またこの出向の機会を多くの小平JCメンバーにも掴んでもらうために、今度は私がメンバーに「機会の提供」をしてまいります。

最後に、青年会議所に入会したからには是非一度は出向をして外の世界を見てほしいというお願いとともに、多くのメンバーの出向を通して小平青年会議所がより存在感のあるLOMになることを祈念して東京ブロック協議会 議長の出向報告とさせていただきます。

2025年度監事報告

外部監事
大森 紀生

ご縁あって2025年度の外部監事として皆様と共に行動させて頂きました。歴の浅いメンバーも多く、厳しい発言も多々させて頂きましたが、会の為、皆さんの成長の為に思っただけの言動ですので、ご理解いただけたらと存じます。皆さんの成長を間近で拝見させて頂き、外部監事として組織に携われたことは大変光栄であり、尊く、現役メンバーを誇りに感じる一年でした。

まずは全ての例会、事業が理事会において事業計画書が慎重に審議され、事業計画に沿って実施、適正に事業報告書および決算書が承認されたことを報告させていただきます。

客観的な立場からお伝えしたことは事業計画の初期段階より、福室理事長の掲げた想い、その先にある明るい豊かな社会の実現へと一本に繋がる事業目的(Vision)を明確に思い描けること、それを計画書へ表現することの重要性でした。その上で様々な事業内容、予算計画等の精査を行なうことが事業構築の精度の向上へと繋がるからです。

一年を通し、この凄まじい速さで変化する社会のニーズに応えようと皆さんが真摯に向き合い、取り組み、悩み、試行錯誤しながらも、地域やひとに真摯に向き合いながら運動展開する姿勢を間近で見て、その姿は地域社会に必要とされ、信頼される団体へとまっすぐに進化していることを確信いたしました。

最後に、この素晴らしい時間を与えていただいた福室理事長をはじめ、会員の皆様へ、心より感謝申し上げます。一年間、ありがとうございました。

2025年度監事報告

外部監事
富田 隼

2025年度は、理事メンバー及びフォロワーメンバーの結束力の強さ、新入会員の積極的な運動参加、及び皆様の仲の良さが見られた1年だったと感じました。これも、福室理事長の周囲への配慮、正副理事長の皆様の支え及びメンバーの皆様の前向きな姿勢によるものと思います。2026年以降も、この環を拓けていっていただけるものと期待しております。

他方で事業の議案書について、正副理事長会や理事会に上程する前の作りこみやチェック、意見・質問に対する対応、及び例会における開会及び閉会の際の流れなど、改善すべき点も多くみられました。近年、小平青年会議所においても、様々な点について時間短縮が望まれているように感じます。だからこそ、上記の点などを改善することで、より効率的な時間の使い方ができるのではないのでしょうか。作りこみ及びチェックが不十分で内容が大幅に変わらう議案を議論しても、内容が変わるので意味は乏しいです。また、意見や質問に対応していない議案を良しとするのであれば、そもそも会議において意見や質問をすること自体に意味がなく、会議の意義を失わせてしまいます。同様に、縮めるべきところを徹底しない例会についても、会員の成長の機会の観点から非常にもったいないと考えます。皆さん貴重な時間を使っているからこそ、押さえるべきところを押さえるという観点は非常に大事です。

今後も、小平青年会議所が、会員の成長に資する組織であり続けることを祈念して、監事の報告とさせていただきます。

(第2号議案) 2025年度決算報告並びに監査報告承認の件

収入の部

2025年度科目	2025年補正予算(第4号)	2025年補正予算(第4号)備考	2025年決算	2025年決算
1.事業活動収入				
(1)入会金収入				
入会金収入(1-1-1)	¥60,000	3名 × ¥20,000	¥60,000	3名 × ¥20,000
(2)会費収入				
正会員会費収入(30歳以上)1-2-1	¥1,344,000	14名 × ¥96,000	¥1,344,000	14名 × ¥96,000
正会員会費収入(25-29歳)1-2-1	¥72,000	1名 × ¥72,000 (山口)	¥72,000	1名 × ¥72,000 (山口)
正会員会費収入(25-29歳)1-2-1	¥36,000	1名 × ¥36,000 (青森)	¥36,000	1名 × ¥36,000 (青森)
正会員会費収入(20-24歳)1-2-1	¥96,000	2名 × ¥48,000 (熊本・山下)	¥96,000	2名 × ¥48,000 (熊本・山下)
正会員会費収入(ハリケーンズ)	¥84,000	上半期分会費(48,000円+36,000円)	¥84,000	上半期分会費(48,000円+36,000円)
新入会員会費収入1-2-2	¥168,000	3名入会目標(8000円計算) 1月1名=96,000 7月1名=48,000 10月1名=24,000	¥168,000	3名入会目標(8000円計算) 1月1名=96,000 7月1名=48,000 10月1名=24,000
賛助企業会費収入1-2-3	¥310,000	31社 × ¥10,000	¥310,000	31社 × ¥10,000
新賛助企業会費収入1-2-3	¥30,000	3社 × ¥10,000	¥30,000	3社 × ¥10,000
新サポートスタッフ会費収入1-2-4	¥0	1名 × ¥5,000	¥0	1名 × ¥5,000
(3)事業収入				
(4)受取寄付収入				
受取寄付(協賛金)収入1-4-1			¥10,000	セブ寄付金
募金収入1-4-2			¥0	
(5)雑収入				
受取利息収入1-5-1	¥1,000		¥342	口座3つの合計648
賛助会員会費1-5-2	¥530,000	106人 × 5000円	¥530,000	106人 × 5000円
その他雑収入1-5-3	¥101,000		¥190,225	日本青年会属所剰余金、事務局家賃補助 卒業生祝い金
(6)他会計からの繰入金収入				
事務局修繕積立金からの繰入金1-6-1	¥0		¥0	
周年事業積立金からの繰入金1-6-2	¥0		¥0	
仮払金(2024年度予算より)1-6-3	¥310,440		¥310,440	
事業活動収入計	¥3,142,440		¥3,241,007	
当期収入合計	¥3,142,440		¥3,241,007	
前期繰越金	¥481,201		¥481,201	
	¥3,623,641		¥3,722,208	

支出の部

2025年度科目	2025年度補正予算(第4号)	2025年度補正予算(第4号)備考	2025年度決算	2025年度決算備考	増減
2.事業活動支出					
(1)事業費支出					
LOVE & PEACE委員会2-1-1	¥460,000	1月(¥140,000)8月(¥150,000)11月(¥150,000)	¥463,998	1月(¥138,069)8月(¥189,350)12月(¥136,379)	¥16,002
HAPPY & SMILE委員会2-1-2	¥500,000	3月(¥150,000)5月(¥50,000)11月(¥300,000)	¥458,098	3月(¥129,100)5月(¥47,466)11月(¥279,532)	¥43,902
拡大交流事業費2-1-3					¥0
事務局2-1-4	¥125,000	2月(¥10,000)7月(¥50,000)12月(¥65,000)	¥112,881	2月(¥8,776)7月(¥47,865)12月(¥56,240)	¥12,119
新人企画特別委員会2-1-5	¥100,000	10月(¥100,000)	¥97,151	10月(¥97,151)	¥2,849
選挙管理委員会2-1-6	¥0		¥0		¥0
事業費支出計	¥1,205,000		¥1,130,128		¥74,872
(2)管理費支出					
会議費支出2-2-1	¥5,500	総会看板代2回(¥5,500×2)	¥0		¥5,500
旅費交通費支出2-2-2	¥0		¥0		¥0
通信費支出2-2-3	¥190,000	電話代・インターネット・携帯・Googleドライブ・ZOOM(¥23,375)費用	¥178,908	電話代・インターネット・携帯・Googleドライブ155,532・ZOOM(¥23,375)費用	¥11,092
発送費支出2-2-3	¥10,000	切手代(賛助への郵送費等)、祝電等(¥9,400)	¥9,400	祝電	¥600
消耗品費支出2-2-4	¥10,000	トイレ備品・プリンター関係・封筒新調・文具	¥13,543	トイレ備品・プリンター関係・封筒新調	¥-3,543
会員支給品費支出2-2-5	¥9,000	バッジ(¥3,000×3人)		3000-3000+2800⇒8800	¥-53,959
	¥5,100	ネームプレート(¥1,700×3人)	¥62,959	1700×3⇒5100	¥5,100
	¥39,000	JOジャンパー・ポロシャツ(¥12,353×3人)		12000	¥39,000
	¥12,000	理事長経験者バッジ購入費		12353+24706	¥12,000
印刷製本費支出2-2-6	¥0		¥0		¥0
水道光熱費支出2-2-7	¥85,000	2024年度決算 電気代(¥82,353+水道代¥17,358)	¥81,776		¥3,224
産廃処理費支出2-2-8	¥9,000	ゴミ袋購入代等(¥3,000×3)	¥6,000	ゴミ袋購入代等(¥3,000×3)	¥3,000
賃借料支出2-2-9	¥100,000	地代家賃	¥100,000	地代家賃	¥0
業務委託支出2-2-10	¥15,000	HPサーバー料 (ドメイン更新¥7,700/年)サーバー料金(¥6,600/年)	¥14,300	HPサーバー料 (ドメイン更新¥7,700/年)サーバー料金(¥6,600/年)	¥700
	¥0	HP更新料	¥0	HP更新料	¥0
	¥66,000	法人役員変更届け業務委託費	¥0	法人役員変更届け業務委託費	¥66,000
	¥10,000	税理士法人 多摩合同会計事務所	¥10,000	税理士法人 多摩合同会計事務所	¥0
保険料支出2-2-11	¥19,000	賠償責任保険¥5,000・火災保険¥13,070	¥18,070	賠償責任保険¥5,000・火災保険¥13,070	¥930
広報支出2-2-12	¥0	小平JC紹介兼拡大大用案内(紙200部・WEB)	¥0	小平JC紹介兼拡大大用案内(紙200部・WEB)	¥0
租税公課支出2-2-13	¥20,000	法人都民税	¥20,000	法人都民税	¥0
渉外費支出2-2-14					
慶弔費支出	¥60,000	慶弔費等	¥50,000	慶弔費等	¥10,000
渉外費支出	¥236,000	理事長公務等(委員会諸所懇親会費12回、各種登録費) (上半期実績¥116,000)	¥230,000	理事長公務等(委員会諸所懇親会費12回、各種登録費) (上半期実績¥11.6万)	¥6,000
負担金支出	¥10,000	国際交流協会	¥10,000	国際交流協会	¥0
	¥10,000	防犯協会	¥10,000	防犯協会	¥0
	¥10,000	社会福祉協議会	¥10,000	社会福祉協議会	¥0
	¥10,000	観光まちづくり協会	¥10,000	観光まちづくり協会	¥0
交際費支出	¥30,000	拡大対象者との交流等	¥17,740	拡大対象者との交流等	¥12,260
諸大会参加費支出	¥345,500	*TBCグラウンドセミナー(¥70,000) *京都会議(¥8,000) *TBC野球大会(¥10,000) *サマコン(¥90,000) *関東地区大会(¥20,000) 全国大会(¥62,500) まよならブロック(¥45,000) ありがとう関東地区(¥40,000)	¥345,500	*TBCグラウンドセミナー(¥70,000) *京都会議(¥8,000) *TBC野球大会(¥10,000) *サマコン(¥100,000) *関東地区大会(¥20,000) 全国大会(¥78,000) まよならブロック(¥60,000) ありがとう関東地区(¥33,000)	¥0
管理・運営予備費2-2-15					
管理・運営予備費	¥20,000	事務局管理に対する費用 ホームプレート(¥2,025)むしよけネット(¥877)	¥2,025	ホームプレート2025	¥17,975
修繕費支出	¥0		¥0		¥0
雑支出2-2-16					
雑費	¥10,000	振込手数料代引手数料等	¥6,260	振込手数料代引手数料等	¥3,740
	¥1,375	借入金カード更新費用	¥1,375	借入金カード更新費用	¥0
管理費支出計	¥1,347,475		¥1,207,856		¥139,619
(3)負担金支出					
JCI負担金支出2-3-1-1	¥42,900	¥2145(¥165×13米ドル)×20名	¥42,900	¥2145(¥165×13米ドル)×20名	¥0
JC会館立て替え負担金2-3-1-2	¥30,000	¥1500×20名	¥30,000	¥1500×20名	¥0
日本JC負担金支出2-3-2	¥30,000	基本金	¥30,000	基本金	¥0
	¥100,000	付加金¥5,000×20名	¥100,000	付加金¥5,000×20名	¥0
関東地区協議会負担金支出2-3-3	¥10,000	基本金	¥10,000	基本金	¥0
	¥20,000	付加金¥1,000×20名	¥20,000	付加金¥1,000×20名	¥0
ブロック協議会負担金支出2-3-4	¥40,000	基本金	¥40,000	基本金	¥0
	¥60,000	付加金¥3,000×20名	¥60,000	付加金¥3,000×20名	¥0
	¥11,000	公開討論会 基本金¥5000+付加金¥300×20名	¥11,000	公開討論会 基本金¥5000+付加金¥300×20名	¥0
国際協力資金支出2-3-5	¥36,500	付加金¥1,825×20名	¥36,500	付加金¥1,825×20名	¥0
WeBelieve購読料支出2-3-6	¥30,000	¥1500×20名	¥30,000	¥1500×20名	¥0
各団体出向者負担金2-3-7	¥34,650	東京ブロック出向者負担金(¥3,150×11名)	¥34,650	東京ブロック出向者負担金(¥3,150×11名)	¥0
負担金支出計	¥445,050		¥445,050		¥0
(4)他会計への繰入金支出					
周年事業積立金繰出支出	¥300,000		¥300,000		¥0
事務局修繕積立金支出	¥60,000		¥60,000		¥0
仮払金 次年度分2025年度内支出用	¥200,000		¥200,000		¥0
他会計への繰入金支出計	¥560,000		¥560,000		¥0
事業活動支出計	¥3,557,525		¥3,343,034		¥214,491
3.予備費支出	¥66,116	(予備費率1.8%)	¥0	(予備費率0.6%)	¥66,116
当期支出合計	¥3,623,641		¥3,343,034		¥280,607

令和7年度貸借対照表

(令和7年1月1日から令和7年12月31日まで)

一般社団法人小平青年会議所

(単位：円)

科 目	前 年 度	当 年 度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	481,201	379,174	△102,027
未収入金	0	0	0
仮払金	310,440	200,000	△110,440
立替金	0	0	0
流動資産合計	791,641	579,174	△212,467
2. 固定資産			
①特定資産			
事務局修繕積立資産	240,000	300,091	60,091
周年事業積立資産	600,007	900,222	300,215
基本財産合計	840,007	1,200,313	360,306
②その他の固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	840,007	1,200,313	360,306
資産合計	1,631,648	1,779,487	147,839
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	0	0
前受金	0	0	0
仮受金	0	0	0
流動負債合計	0	0	0
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	1,631,648	1,779,487	147,839
(うち特定資産への充当額)	840,007	1,200,313	360,306
正味財産合計	1,631,648	1,779,487	147,839
負債及び正味財産合計	1,631,648	1,779,487	147,839

令和7年度正味財産増減計算書

(令和7年1月1日から令和7年12月31日まで)

一般社団法人小平青年会議所

(単位：円)

科目	令和6年度	令和7年度	差異	備考
1. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①入会金	【 220,000 】	【 60,000 】	【 △160,000 】	
新入会員入会金	220,000	60,000	△160,000	
②会費	【 2,492,000 】	【 2,140,000 】	【 △352,000 】	
正会員会費	1,632,000	1,632,000	0	
新入会員会費	540,000	168,000	△372,000	
賛助会員会費	320,000	340,000	20,000	
③事業	【 0 】	【 0 】	【 0 】	
登録料	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
④受取寄付	【 120,000 】	【 10,000 】	【 △110,000 】	
受取寄付	120,000	10,000	△110,000	
募金収入	0	0	0	
⑤雑収益	【 954,937 】	【 720,873 】	【 △234,064 】	
受取利息	70	648	578	
シニアクラブ	849,000	530,000	△319,000	シニアクラブより
その他雑益	105,867	190,225	84,358	日本青年会議所戻し金等
⑥他会計からの繰入金	【 0 】	【 0 】	【 0 】	
周年積立金からの繰入金	0	0	0	
事務局修繕費からの繰入金	0	0	0	
事業活動収入計	3,786,937	2,930,873	△856,064	
(2) 経常費用				
①事業費	【 1,489,171 】	【 1,130,128 】	【 △359,043 】	
委員会事業費				
LOVE&PEACE委員会	498,170	463,998	△34,172	
HAPPY&SMILE委員会	436,767	466,098	19,331	
拡大交流事業	231,178	0	△231,178	
事務局	204,519	112,881	△91,638	
新人企画特別委員会	118,537	97,151	△21,386	
選挙管理委員会	0	0	0	
②管理費	【 2,465,955 】	【 1,207,856 】	【 △1,258,099 】	
会議費	5,500	0	△5,500	
旅費交通費	0	0	0	
通信・発送費	168,873	188,308	19,435	電話代、インターネット、携帯、Googleドライブ、ZOOM、祝電
消耗品費	9,941	13,543	3,602	事務用品
会員支給品費	178,381	62,959	△115,422	バッヂ・ジャンパー等
印刷製本費	0	0	0	
光熱水費	74,368	81,776	7,408	事務局水道光熱費
産廃処理支出	15,000	6,000	△9,000	ゴミ袋
賃借料	100,000	100,000	0	事務局家賃
業務委託費	29,538	24,300	△5,238	H Pドメイン更新等
保険料	16,260	18,070	1,810	賠償保険、火災保険
広報費支出	20,000	0	△20,000	
租税公課	20,000	20,000	0	法人都民税
慶弔費	105,591	50,000	△55,591	香典・結婚出産祝い
渉外費・交際費	114,484	247,740	133,256	理事長公務費等
諸大会参加費・負担金支出	265,500	385,500	120,000	国際交流協会、防犯協会、社会
管理運営予備費	1,639	2,025	386	拡大対象者との交際費
事務局トイレ修繕費	1,320,440	0	△1,320,440	
雑費	20,440	7,635	△12,805	ネームプレート
③負担金	【 573,730 】	【 445,050 】	【 △128,680 】	
JCI負担金	67,080	42,900	△24,180	JCI会費
JC会館立替負担金	0	30,000	30,000	
日本JC負担金	172,500	130,000	△42,500	基本金+付加金
関東地区協議会負担金	37,000	30,000	△7,000	基本金+付加金
ブロック協議会負担金	131,700	111,000	△20,700	基本金+付加金
国際協力資金	54,750	36,500	△18,250	付加金
We Believe講談料	69,750	30,000	△39,750	
各団体出向者負担金支出	40,950	34,650	△6,300	東京ブロック出向者負担金
経常費用計	4,528,856	2,783,034	△1,745,822	
当期経常増減額	-741,919	147,839	889,758	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	-741,919	147,839	889,758	
一般正味財産期首残高	2,373,567	1,631,648	△741,919	
一般正味財産期末残高	1,631,648	1,779,487	147,839	
II. 指定正味財産増減の部				
寄付金受贈益	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III. 正味財産期末残高	1,631,648	1,779,487	147,839	

令和7年度貸借対照表

(令和7年1月1日から令和7年12月31日まで)

一般社団法人小平青年会議所

(単位：円)

科 目	前 年 度	当 年 度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	481,201	379,174	△102,027
未収入金	0	0	0
仮払金	310,440	200,000	△110,440
立替金	0	0	0
流動資産合計	791,641	579,174	△212,467
2. 固定資産			
①特定資産			
事務局修繕積立資産	240,000	300,091	60,091
周年事業積立資産	600,007	900,222	300,215
基本財産合計	840,007	1,200,313	360,306
②その他の固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	840,007	1,200,313	360,306
資産合計	1,631,648	1,779,487	147,839
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	0	0
前受金	0	0	0
仮受金	0	0	0
流動負債合計	0	0	0
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	1,631,648	1,779,487	147,839
(うち特定資産への充当額)	840,007	1,200,313	360,306
正味財産合計	1,631,648	1,779,487	147,839
負債及び正味財産合計	1,631,648	1,779,487	147,839

令和7年度財産目録

(令和7年1月1日から令和7年12月31日まで)

一般社団法人小平青年会議所

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・数量等	金額
(流動資産)			
現金及び預金	普通預金	西武信用金庫花小金井支店	379,174
	仮払金	令和8年賀詞交歓会会場費他	200,000
流動資産合計			579,174
貸借対照表科目		場所・数量等	金額
(固定資産)			
特定資産			
	事務局修繕積立資産	西武信用金庫花小金井支店	300,091
	周年事業積立資産	西武信用金庫花小金井支店	900,222
固定資産合計			1,200,313
資産合計			1,779,487
正味財産			
貸借対照表科目		場所・数量等	金額
(流動負債)			
	(以下なし)		
流動負債合計			0

2026年1月15日

監査報告書

2025年度一般社団法人小平青年会議所
理事長 福室 英俊 殿

一般社団法人小平青年会議所

外部監事 大森 紀生



外部監事 富田 隼



私たちは、2025年1月1日から2025年12月31日までの会計年度における会計及び業務の監査を行い、次の通り報告する。

1. 監査の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手段を用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 収支計算書・正味財産増減計算書・貸借対照表および財産目録は、会計帳簿全額と一致し、法人の収支状況および財産状態を正しく表示しているものと認められる。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認められる。
- (3) 理事の職務執行に関する不正行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事項はないと認められる。

以上

(第3号議案) 2026年度補正予算(第1号)承認の件

収入の部

2026年度(2026年1月1日~2026年12月31日)年間予算計画(補正予算第1号)

2026年度科目	2026年補正予算(第1号)	2026年補正予算(第1号)備考	2026年当初予算	2026年当初予算備考	増減
1.事業活動収入					
(1)入会金収入					
入会金収入(1-1-1)	¥300,000	15名×¥20,000	¥300,000	15名×¥20,000	¥0
(2)会費収入					
正会員会費収入(30歳以上)1-2-1	¥1,344,000	14名×¥96,000	¥1,440,000	15名×¥96,000	¥-96,000
正会員会費収入(25-29歳)1-2-1	¥216,000	3名×¥72,000 <small>(前年・山口・熊本)</small>	¥216,000	3名×¥72,000 <small>(前年・山口・熊本)</small>	¥0
正会員会費収入(20-24歳)1-2-1	¥48,000	1名×¥48,000 <small>(山7)</small>	¥48,000	1名×¥48,000 <small>(山7)</small>	¥0
新入会員会費収入1-2-2	¥760,000	~15名入会目標(8,000円計算) 1月3名=¥264,000(実額) 4月1名=¥72,000 6月3名=¥188,000 7月1名=¥48,000 8月3名=¥120,000 9月1名=¥32,000 10月1名=¥24,000 11月2名=¥32,000	¥696,000	~15名入会目標(8,000円計算) 1月1名=¥96,000 2月1名=¥88,000 4月1名=¥72,000 6月3名=¥188,000 7月1名=¥48,000 8月3名=¥120,000 9月1名=¥32,000 10月1名=¥24,000 11月3名=¥48,000	¥64,000
賛助企業会費収入1-2-3	¥340,000	34社×¥10,000	¥340,000	34社×¥10,000	¥0
新賛助企業会費収入1-2-3	¥10,000	1社×¥10,000	¥10,000	1社×¥10,000	¥0
新サポートスタッフ会費収入1-2-4	¥10,000	2名×¥5,000	¥10,000	2名×¥5,000	¥0
(3)事業収入					
(4)受取寄付収入					
受取寄付(協賛金)収入1-4-1	¥0		¥0		¥0
募金収入1-4-2	¥0		¥0		¥0
(5)雑収入					
受取利息収入1-5-1	¥1,000		¥1,000		¥0
賛助会員会費1-5-2	¥530,000	108人×5,000円	¥540,000	108人×5,000円	¥-10,000
その他雑収入1-5-3	¥100,000		¥100,000		¥0
(6)他会計からの繰入金収入					
事務局修繕積立金からの繰入金1-6-1	¥0		¥0		¥0
周年事業積立金からの繰入金1-6-2	¥0		¥0		¥0
仮払金(2025年度予算より)1-6-3	¥200,000		¥200,000		¥0
事業活動収入計	¥3,859,000		¥3,901,000		¥-42,000
当期収入合計	¥3,859,000		¥3,901,000		¥-42,000
前期繰越金	¥379,174	2025年度繰越金確定のため	¥0	2025年度繰越金未確定のため	¥379,174
	¥4,238,174		¥3,901,000		¥337,174

支出の部

2026年度科目	2026年度補正予算(第1号)	2026年度補正予算(第1号)備考	2026年度当初予算	2026年度当初予算備考	増減
2事業活動支出					
(1)事業費支出					
青少年まちづくり委員会2-1-1	¥400,000	3月(¥150,000)9月(¥250,000)	¥400,000	3月(¥150,000)9月(¥250,000)	¥0
拡大交流事業費2-1-3	¥620,000	1月(¥200,000) 4月(¥140,000) 7月(¥180,000) 10月(¥100,000)	¥620,000	1月(¥200,000) 4月(¥140,000) 7月(¥180,000) 10月(¥100,000)	¥0
JCサークル					
総務委員会2-1-4	¥140,000	2月(¥10,000)12月(¥130,000)	¥140,000	2月(¥10,000)12月(¥130,000)	¥0
新人企画特別委員会2-1-5	¥90,000	11月(¥90,000)	¥90,000	11月(¥90,000)	¥0
選挙管理委員会2-1-6	¥10,000	3-4月(¥10,000)	¥10,000	3-4月(¥10,000)	¥0
事業費支出計	¥1,260,000		¥1,260,000		¥0
(2)管理費支出					
会議費支出2-2-1	¥11,000	総会看板代2回(¥5,500×2)	¥11,000	総会看板代2回(¥5,500×2)	¥0
旅費交通費支出2-2-2	¥0		¥0		¥0
通信費支出2-2-3	¥160,000	電話代・インターネット・携帯・Googleドライブ・ZOOM(¥24,000-)費用	¥190,000	電話代・インターネット・携帯・Googleドライブ・ZOOM(¥24,000-)費用	¥-30,000
発送費支出2-2-3	¥20,000	切手代(賛助への郵送費等)、祝電等	¥20,000	切手代(賛助への郵送費等)、祝電等	¥0
消耗品費支出2-2-4	¥20,000	トイレ備品・プリンター関係・封筒	¥20,000	トイレ備品・プリンター関係・封筒	¥0
会員支給品費支出2-2-5	¥45,000	バッジ(¥3,000×15人)	¥45,000	バッジ(¥3,000×15人)	¥0
	¥25,500	ネームプレート(¥1,700×15人)	¥25,500	ネームプレート(¥1,700×15人)	¥0
	¥195,000	JCジャンパー・ポロシャツ(¥13,000×15人)	¥195,000	JCジャンパー・ポロシャツ(¥13,000×15人)	¥0
	¥12,000	理事長経験者バッジ購入費	¥12,000	理事長経験者バッジ購入費	¥0
印刷製本費支出2-2-6	¥13,000	名刺ベースデザイン費	¥13,000	名刺ベースデザイン費	¥0
水道光熱費支出2-2-7	¥80,000	2024年度決算 電気代¥92,353+水道代¥17,358	¥80,000	2024年度決算 電気代¥92,353+水道代¥17,358	¥0
産廃処理費支出2-2-8	¥20,000	ゴミ袋購入代等(¥3,000×3)+産廃ゴミ¥11,000	¥20,000	ゴミ袋購入代等(¥3,000×3)+産廃ゴミ¥11,000	¥0
賃借料支出2-2-9	¥100,000	地代家賃	¥100,000	地代家賃	¥0
	¥15,000	HPサーバー料 (ドメイン更新¥7,700/年)サーバー料金(¥6,600/年)	¥14,000	HPサーバー料 (ドメイン更新¥7,700/年)サーバー料金(¥6,600/年)	¥1,000
業務委託支出2-2-10	¥33,000	法人役員変更届け業務委託費	¥33,000	法人役員変更届け業務委託費	¥0
	¥10,000	税理士法人 多摩合同会計事務所	¥10,000	税理士法人 多摩合同会計事務所	¥0
保険料支出2-2-11	¥19,000	賠償責任保険¥5,000・火災保険¥13,070	¥18,000	賠償責任保険¥5,000・火災保険¥13,070	¥1,000
広報支出2-2-12	¥28,300	小平JC紹介兼拡大用案内(紙200部・WEB)・canvaプロ(¥8,300-)	¥28,300	小平JC紹介兼拡大用案内(紙200部・WEB)・canvaプロ(¥8,300-)	¥0
租税公課支出2-2-13	¥20,000	法人都民税	¥20,000	法人都民税	¥0
渉外費支出2-2-14					
慶弔費支出	¥50,000	慶弔費等	¥50,000	慶弔費等	¥0
渉外費支出	¥100,000	理事長公務等(会員会議所懇親会費12回、各種登録費)	¥100,000	理事長公務等(会員会議所懇親会費12回、各種登録費)	¥0
負担金支出	¥10,000	国際交流協会	¥10,000	国際交流協会	¥0
	¥10,000	防犯協会	¥10,000	防犯協会	¥0
	¥10,000	社会福祉協議会	¥10,000	社会福祉協議会	¥0
交際費支出	¥40,000	観光まちづくり協会 拡大対象者との交流等	¥40,000	観光まちづくり協会 拡大対象者との交流等	¥0
		京都会議(¥10,000) TBCグラゼレ(¥70,000) TBCカチマニ開校式(¥40,000) TBC野球大会(¥10,000) ASAPC・新編(¥100,000) サマコン(¥40,000) 関東地区大会・立川(¥100,000) 全国大会・神戸(¥75,000) 世界大会・ソウル(¥50,000)	¥98,000	京都会議(¥6,000) TBCグラゼレ(¥46,000) TBCカチマニ開校式(¥40,000) TBC野球大会(¥10,000)	¥437,000
管理・運営準備費2-2-15					
管理・運営準備費	¥20,000	事務局管理に対する費用	¥20,000	事務局管理に対する費用	¥0
修繕費支出	¥0		¥0		¥0
雑費支出2-2-16					
雑費	¥25,000	振込手数料代引手数料等	¥25,000	振込手数料代引手数料等	¥0
	¥1,375	クレジットカード更新費用	¥1,375	クレジットカード更新費用	¥0
管理費支出計	¥1,638,175		¥1,229,175		¥409,000
(3)負担金支出					
JCI負担金支出2-3-1-1	¥75,140	¥2,210(¥170×13米ドル)×34名	¥75,140	¥2,210(¥170×13米ドル)×34名	¥0
未来の青年会議所を創る協力会2-3-1-2	¥44,250	¥1,500×25名+¥750×9名	¥44,250	¥1,500×25名+¥750×9名	¥0
日本JC負担金支出2-3-2	¥30,000	基本金	¥30,000	基本金	¥0
	¥147,500	付加金¥5,000×25名+¥2,500×9名	¥147,500	付加金¥5,000×25名+¥2,500×9名	¥0
関東地区協議会負担金支出2-3-3	¥10,000	基本金	¥10,000	基本金	¥0
	¥34,000	付加金¥1,000×34名	¥34,000	付加金¥1,000×34名	¥0
ブロック協議会負担金支出2-3-4	¥40,000	基本金	¥40,000	基本金	¥0
	¥102,000	付加金¥3,000×34名	¥102,000	付加金¥3,000×34名	¥0
	¥10,700	公開討論会 基本金¥5000+付加金¥300×19名	¥10,700	公開討論会 基本金¥5000+付加金¥300×19名	¥0
国際協力資金支出2-3-5	¥62,050	付加金¥1,825×34名	¥62,050	付加金¥1,825×34名	¥0
WeBelieve講話料支出2-3-6	¥44,250	¥1,500×25名+¥750×9名	¥44,250	¥1,500×25名+¥750×9名	¥0
各団体出向者負担金2-3-7	¥31,500	東京ブロック出向者負担金(¥3,150×10名)	¥31,500	東京ブロック出向者負担金(¥3,150×10名)	¥0
負担金支出計	¥831,390		¥831,390		¥0
(4)他会計への繰出金支出					
周年事業積立金繰出金支出	¥300,000	令和6年12月末残高 120万円予定	¥300,000	令和6年12月末残高 120万円予定	¥0
事務局修繕積立金支出	¥10,000	令和6年12月末残高 31万円予定	¥10,000	令和6年12月末残高 31万円予定	¥0
仮払金 次年度分2026年度内支出用	¥200,000		¥200,000		¥0
他会計への繰入金支出計	¥510,000		¥510,000		¥0
事業活動支出計	¥4,039,565		¥3,630,565		¥409,000
3.予備費支出	¥198,609	(予備費率4.6%)	¥270,435	(予備費率6.9%)	¥-71,826
当期支出合計	¥4,238,174		¥3,901,000		¥337,174

(第4号議案) その他

2025年度賛助会員の皆様

株式会社大東 様	多摩信用金庫小平支店 様
多摩合同会計事務所 様	西武信用金庫花小金井支店 様
有限会社アイピーエスシステム 様	株式会社 久野建装 様
有限会社 梅室園 様	前田建設 株式会社 様
有限会社 吉村材木店 様	熊野宮 様
有限会社 石橋自動車 様	株式会社 緑陽社 様
有限会社 カースクウェア 様	根古警備保障 株式会社 様
日本ガード株式会社 様	株式会社石井電気工事 様
都民交通事業株式会社 様	やまざき整骨院 様
内野測量事務所 様	有限会社のぞき 様
社会保険労務士法人 サムライOffice様	医療法人 徳寿会介護老人保健施設 プラチナ・ヴィラ小平 様
有限会社 利予フーズ だんごの美好 様	有限会社角萬酒店 様
小平神明宮 様	小平神明幼稚園 様
有限会社 輝栄様	有限会社酒のやまじょう様
有限会社細谷商店 様	Yショップオアシス 様
株式会社遠藤商会 様	アール行政書士事務所 様
宗教法人當麻山泉藏院	株式会社 VILD アドバンス 様
一般財団法人オペラアーツ振興財団 様	株式会社明誠 様
株式会社ベストワーク 旅行事業部 ベストツアー多摩 様	日本競輪選手会静岡支部所属 渡邊颯太 様
株式会社多摩グリーンサービス 様	